

大学と連携した地域の活性化 ■京丹後市夢まち創り大学の運営 【総務費】1,515万円 （企画政策課）

平成26年度に設立した京丹後市夢まち創り大学について、フィールドワーク等による大学の「教育研究活動の場」として、また住民と学生など様々な人々が集い、互いに学び合いながら地域課題解決に取り組むなど、「多世代型生涯学習の場」として大学生の本市への流入と交流を促進します。



大学生の地域における活動風景

コミュニティビジネス事業を応援します ■コミュニティビジネス応援補助金 【総務費】1,024万円 （市民協働課）

コミュニティビジネスとは、様々な地域課題に対し、ビジネスの手法を用いて解決を図り、また、その効果が地域に還元される取組をいい、新たなコミュニティビジネスに取り組む地域活動団体等を支援します。
○補助率：2/3以内（上限200万円）



ささえ合い交通（丹後町）の出発式

■市民力活性化推進プロジェクト事業補助金 【総務費】250万円 （市民協働課）

市民活動団体などが実施する地域の活力向上や地域の課題解決に向けた取組を対象に、市民力活性化推進プロジェクト事業補助金を交付します。



補助金を活用したかぶと山の歴史学習会の様子

地域コミュニティ活動の充実・強化のために ■地域集会施設整備費補助金 【総務費】5,388万円 （市民協働課）

地域コミュニティ活動の充実および強化を図るため、活動の拠点となる地区所有集会施設等の整備に対して補助金を交付します。

今年度は、西山区（峰山町）、願興寺区（丹後町）、佐野丙区（久美浜町）における集会施設新築事業のほか、2地区の修繕事業を支援する予定としています。



集会施設の新築（甲山区）

個別支援体制の確保と相談窓口の充実を図ります ■くらしとしごとの寄り添い支援事業 【民生費】4,204万円 （生活福祉課）

寄り添い支援総合サポートセンターでは、『くらし』と『しごと』の寄り添い支援センター、「市民相談室」、「多重債務相談・支援室」、「消費生活センター」が一体的に相談を受け付け、生活や就労など幅広い支援体制を整備しています。

生活上の悩みから仕事についての困りごとまで、幅広く相談を受け、各種制度やサービス、専門機関などの窓口の紹介・利用調整・同行、また、就労支援として、情報提供や助言、基礎的な就労訓練を行います。

また、貧困の連鎖の防止を目的とした子どもの学習支援や、平成28年1月に開所した「黒部の居場所ひまわり」で、家庭や地域など社会的に孤立している方の「生活の改善」や「仲間づくり」、「就労に向けた体験や訓練」「地域内外の団体との連携交流」などの事業を実施して、自立や社会復帰に向けた支援を行います。



寄り添い支援総合サポートセンター

寄り添い支援総合サポートセンター
☎ 0120-125-294、62-0032（消費生活センター 62-6768）
相談時間：月～金曜日 9：00～17：00

臨時福祉給付金を支給します ■「臨時福祉給付金」の給付事業 【民生費】7,143万円 （生活福祉課）

平成26年4月からの消費税率の引上げによる影響を緩和するため、低所得者に対し臨時福祉給付金を支給します。

併せて、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金受給者に対し、年金生活者等支援臨時福祉給付金を新たに給付します。

- 臨時福祉給付金
 - ・対象者：平成28年度分の市民税（均等割）が課税されない方（対象者を扶養している方が課税される場合や生活保護制度の被保護者となっている場合等は対象外）
 - ・給付額：3,000円
 - ・支給開始時期：10月（予定）
- 年金生活者等支援臨時福祉給付金
 - ・対象者：平成28年度臨時福祉給付金対象者のうち、障害基礎年金又は遺族基礎年金を受給している方（低所得の高齢者向け給付金の支給対象者除く）
 - ・給付額：30,000円
 - ・支給開始時期：10月（予定）

お問い合わせ
生活福祉課69-0310



■障害者への福祉サービス給付 【民生費】14億5,469万円 （障害者福祉課）

障害のある方が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、居宅介護（ホームヘルプ）、同行援護、ショートステイ等一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付などの支援を行い、障害者福祉の増進を図ります。



■障害児通学支援事業 新規 【民生費 200万円 （障害者福祉課）

聴こえに不自由さのある児童の京都府立ろう学校舞鶴分校への通学を支援します。対象は、幼稚園から小学部3年生までの児童とし、公共交通機関を利用して、専任の支援員が登下校に付き添い安心して通学できる環境をつくりま



障害者の就労を応援します ■障害者の職場実習促進と雇用促進 【民生費】104万円 （障害者福祉課）

障害者の職場実習を受け入れた企業等および実習者を支援する福祉事業所に奨励金を給付することで、障害者の就労機会を拡大し、就労能力の向上を促進します。実習者へも奨励金を給付して、就労への意欲につなげます。

また、市役所でも職場実習の場を提供し、就労能力の向上や社会参加の促進しています。



図書館での職場実習の様子

■「くりくり」の運営支援－障害者施設製品販売所－ 【民生費】665万円 （障害者福祉課）

市内大型店舗に出店しているクリエイティブショップ「くりくり」（障害者施設製品販売所）の運営費の一部を支援し、個性的で魅力ある商品の販売により、障害のある方の秘めた才能を引き出す機会とするとともに、障害者施設製品の販売促進、就労意欲向上・社会参加のほか、障害のある人もない人も共に支えあう共生社会が広がる仕組みづくりを目指します。



クリエイティブショップ「くりくり」

高齢者の長寿をお祝いします ■敬老会の実施支援 【民生費】2,570万円 （長寿福祉課）

高齢者の長寿をお祝いし、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表するとともに、今後もますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するため、敬老会を実施する行政区等の団体に対して支援を行います。



敬老会の様子